

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 染矢つや子

山名	古光山～曾爾高原	山行名	登山祭典
ルート	大峠～古光山～後古光山～亀山峠～曾爾高原～お亀の湯		
山行日	10月26日(日)	天候	晴れ
参加者	リーダー：染矢 サブリーダー：中島 企画：梅澤 男性：佐坂・鈴木・坂部・赤松・上田(昌)・広瀬・金本・ 女性：上田(秀)・大林・伊藤・江平・岡本・倉光 合計：16名		

ルート概略図 N 4	コースタイム					
	地名	時：分	地名	時：分		
	大峠への分岐	集	8:25	亀山峠	着	13:45
		発	8:40		コーヒタイム	発
	大峠	着	9:45	お亀の湯	着	15:00
		発	9:55		発	16:00
	南峰	着	10:35		着	
		発	10:40		発	
	古光山(昼)	着	11:00		着	
		発	11:30		発	
	後古山	着	12:30		着	
		発	12:35		発	

年間予定では10月26日は梅澤さん担当で「曾爾・古光山」公開山行。後に公開山行が10月初め「大江山」に変更になった。登山祭典は毎年10月末に実施。

同じ日に山行計画を立てても参加者が少なくなるので、すでに企画されていた梅澤さんに了解を得て登山祭典は「古光山・曾爾」にさせてもらった。当初「曾爾高原すすき散策きっぷ」で行くと案内していたが、バスは曾爾高原までしか行かない事がわかり急遽へいあんバスに変更。幸い15名以上の参加があったので助かった。早めにもう少し細かく調べておけばよかったと反省。予定通り曾爾役場前を左折大峠への分岐で下車。鎧・兜・屏風は、はっきり見えた。

今日はバス通りを挟んで反対の山へ。緩やかな車道を進むが気温高く早くから汗ばむ。皆さん快調だ。1週間前東北から帰って来たばかりの疲れ知らず6名。大峠～古光山～後古光山はロープ・岩・腕力で登る、初めての人には是非体験してほしいコース。少し心配な方も申し込まれたがサポーターがたくさんいるので安心、いろいろな所を歩き経験を積んでほしいと思っていた。亀山峠から曾爾高原を見下ろしたくて直登。(下見では曾爾の入口に行ってしまった)峠直下で予想外の藪こぎになり慣れない人には厳しかったかも。これも経験のひとつ、慣れればすべてが面白い。登山道も歩く人が少なくなれば自然消滅する。お茶しながら亀山峠から曾爾高原をのんびり見下ろしてもらおう。登山者・散策者で賑わっているが10年程前に感動した海のさざ波のように揺れるすすきの穂が見られないのが寂しい。

人気が高いと評判の「お亀の湯」に入ったが洗い場が少なくがっかり、夕方で込み合い時間不足でゆっくり出来なかった人もいて申し訳なかった。もう少し時間をとれば良かった。

ヒヤリハット
なし

古光山から曾爾高原へ

佐坂 茂美

秋の自然を満喫するには紅葉かススキ。 昨年は曾爾高原から古光山を歩き秋を楽しませて頂いた。 小学生のグループと同宿となり早朝の国旗掲揚、ラジオ体操朝礼に参加し数十年前の童心に帰ったことを思い出しました。

今年は果たしてどんなハプニングがあるかと思いつつもバスの降車地で見た鎧・兜岳を差し「来年の春山にどうだろう」と春山担当者と暫しの談合。 大峠から取り付きは急登が続くが「秋山」での消化不良もあるせいか、久しぶりの汗に快感を覚えました。 木の根っこの張り出しに注意し、時たま現れる岩場で三点確保を楽しみながら古光山の山頂へ到着。 下山ルートも厳しくフィックスロープを握り、時には後ろ向きになり安全確保しながらの下降でした。 山を終えいよいよ「すすき」の曾爾高原に入る時には方向を間違えることはないので「20～30m」の藪漕ぎでのショートカットも楽しめました。 背丈を少し超す程度のススキの原を抜けると400ヘクタール程度はあると云われる曾爾高原です。 大勢の人たちがススキの穂波散策を楽しんでいました。 労山祭典に指定された山行であるためか、会の重鎮の参加に某会員から「こんな会員さんが参加する山は一体どんな山なのか？」とも思われたとか。 労山祭典の山行は当初は多くの山仲間が一つの山に登っていたが、それでは他の登山客の迷惑になるとかで、各会毎の山行になったとか。 待望の「山の日」も8月11日と制定され2016年からの施行ですが、こんな祭典山行も是かも知れませぬ。

木の根あり、岩あり、ロープあり、山あり、高原あり、おまけに「入浴あり」と多種多様な山行をお世話頂いた染矢さん、中島さん、梅沢さん 十分に楽しませて頂きました。



3点確保で後古光山へ



亀山峠から望む曾爾高原と少年自然の家